



こんにちは！株式会社のぐちです！とうとう12月です。今年も様々なことがありました。国外では、ロシア/ウクライナやハマス/イスラエルの紛争等の暗い情勢もありますが、大谷翔平史上初2回目のMVP獲得など明るいニュースもありました。国内では、藤井颯太八冠。新型コロナウイルスが第5類へ。ジャニーズ解体…など大きなニュースも。そこで、私の重大ニュースは？というところ、「ゴジラ-1.0」今回のゴジラはスゴイ！大迫力で魅力たっぷり。その凶暴振りと言ったらこの上ない！実は私とゴジラは同い年(かなりの高齢です)子どもの頃からゴジラと共に育った私は他人とは思えない。むしろ分身です。こんなこと話せるのって平和なんですよ。それでは皆さま今月も明るく元気に宜しくお願い致します。

株式会社のぐち



12月の歳時記

「第九・交響曲第九番(合唱付)」

年の瀬が近づくと各地のオーケストラで「第九」の演奏が盛んになります。ベートーベンが作曲した9番目の交響曲ですが、交響曲には珍しく、第4楽章に独唱と合唱の歌詞がついています。「第九」の初演は1918年。第一次世界大戦時、徳島県坂東町のドイツ人捕虜によるものだそうです。年末に「第九」が演奏されるようになったのはNHK交響楽団が暮れに演奏したのが出発点だといわれています。その後、NHKラジオを通じて放送。太平洋戦争開戦後も年末年始の放送は続けられました。1943年、学徒出陣の学生のために東京音楽学校で第4楽章「歓喜の歌」が演奏されたという逸話もあります。戦後はラジオ放送だけでなく、演奏会も年末恒例になり、第九の習慣が広まったようです。一方、楽団の「餅代稼ぎ」説もあるようです。運営に困窮していた楽団が年越しの資金を得ようと人気の高い第九に着目。合唱団も出演するので、相乗効果が得られたようです。ベートーベンと「第九」にまつわるエピソードはかなり有名ですね。耳が聞こえなくなっただけでも作曲を続けたベートーベンの不屈の精神から生まれた力強い音楽「第九」は、困難に立ち向かい、平和を願う場面にふさわしく、私達にパワーを与えてくれます。

さあ皆さんと一緒に「ハレたるアオゾラ〜♪♪♪」

では皆さま、今月も元気よく笑顔で伺いますので、笑顔でむかえて下さいね。

これいいじゃん

便利グッズ研究会からのお知らせ

私たち「便利グッズ研究会」では独断と偏見で選び抜いた便利グッズを皆様にご紹介することを生きがいとしております。ハイ！今回ご紹介するのは、

「クリーンノートKaiteメモタイプ」

磁石の力を使って、専用ペンで何度でも書いて消すことができるシートです。本体は、薄く、軽く、やわらかいつくりのため、手軽に持ち歩くことができます。インク不使用、消しカスゼロなので、手や衣服が汚れる心配がありません。電池、マーカー不要で消耗品なく何度もお使いいただけます。水に濡れても、文字がにじんだり、消えたりしないので水周りでもお使い頂けます。プラス独自で開発した専用イレーザを使って消したいところを表から自由に消せるので、一般的な裏から消す方式と違い、思いのままに書いたり消したりできます。残したい内容は、スマホで撮影して専用アプリで見やすく保存できます。シリコン素材採用で、やわらかな書き心地を実現するとともに、筆記音も静か。デスク上でずれにくく、片手でもスマートに書いて「これいいじゃん」ってわけ。ぜひ皆さまも試してみてくださいね。



標準小売価格

A4×1/3
メモタイプ

¥1,760(税別)

¥1,100(税別)

スタッフ登場

「花火大会」

『ヒュー〜ドンドン〜ドーン』

『ヒュー〜ドンドン〜ドーン』

10月21日(土)

東の空にカウントダウンの尺

玉花火が上がり、ちくせい花火

大会2023が始まりました。

『え、こんなに間近に見えるの

は綺麗で迫力があるのか！』と

2階ベランダから見える景色

は久しく胸を打たれた感じて

した。

今大会のテーマは『驚き、感動、

笑顔 筑西の夜空に咲き誇る』

で茨城が誇る3社花火師の共

演であり、20001発の盛大

な花火大会となりました。

次回の花火大会はベランダの

テラス席等準備をして楽しめ

たいと思います。

また、打ち上げ場所は道の駅グ

ランテラス筑西付近というこ

ともあって、かなり市内は渋滞

となりましたが、是非機会があ

りましたら、観覧に来てみて下

さい。

SE・大声でした。

